

偏芯座付ボルト36、PZ偏芯座付ボルト36 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用 途

■ ホールダウン金物 (36.0kNまで) を片引きで接合する場合に使用します。

特 長

■ 木材のめり込みに対する基準強度が、スギの無垢材 (KD材) と同数値である RW集成材 (オウシュウアカマツ)、WW集成材 (スプルース) でも、36.0kNまでの使用が可能です。

■ 梁せい105mm以上で使用可能です。

※ 梁材を10mm以上座掘りする場合には、別途計算書をご確認ください。

■ ボルト径をφ14.5にしたことで、ボルト穴との干渉が少なく、スムーズな施工が可能です。

接 合 具

ナット×1個

施工方法

- ① 柱面から29mm以上の位置にφ18～φ21のボルト穴をあけます。
- ② 本体を差し込んだ後、ホールダウン金物を介しナットで接合します。



ハウスプラス確認検査(株)性能試験

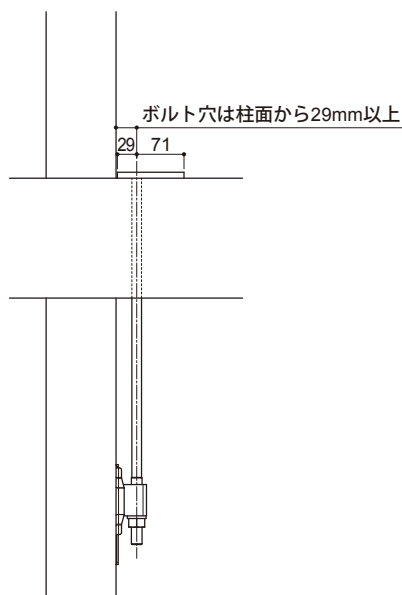
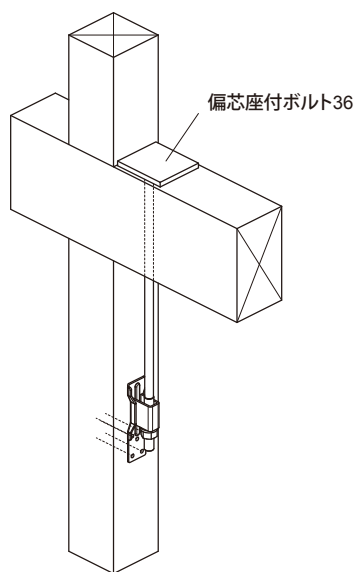
偏芯座付ボルト36、PZ偏芯座付ボルト36

許容めり込み耐力 スギ類: 36.0kN

※ヒノキ類・ベイマツ類の場合、37.6kNまで使用可能です。

※木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)により算出しております。

※各樹種における耐力算出の詳細は、別途計算書を用意しております。



注意事項

- 基礎直結アンカーの代用はできません。
- 製品本体を取り扱う際は、必ず軍手や手袋などをはめてください。
- 施工の際は、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。